



2020年11月12日

各 位

会 社 名	株式会社 PKSHA Technology (コード番号 3993 : 東証マザーズ)
代表者名	代表取締役 上野山 勝也
問合せ先	取締役経営管理本部長 中田 光哉 (03-6801-6718)

**(開示事項の経過) 東京海上ホールディングス株式会社との資本業務提携の最終合意について
— 合弁会社「株式会社AlgoNaut」の設立 —**

株式会社PKSHA Technology (代表取締役：上野山 勝也、以下「当社」) と、東京海上ホールディングス株式会社 (取締役社長 グループCEO 小宮 暁) は、データを活用した事業創出を推進する合弁会社「株式会社AlgoNaut」を2020年11月9日に設立しましたので、お知らせします。

なお、本件が当社の2021年9月期業績に与える影響は現時点で軽微と想定していますが、中長期的に当社の事業展開の拡大に寄与するものと考えています。

詳細につきましては2ページ以降のプレスリリースをご確認下さい。

以 上

合併会社「株式会社AlgoNaut(アルゴノート)」の設立

株式会社PKSHA Technology（代表取締役：上野山 勝也、以下「PKSHA」）と、東京海上ホールディングス株式会社（取締役社長 グループCEO 小宮 暁、以下「東京海上HD」）は、データを活用した事業創出を推進する合併会社「株式会社AlgoNaut」を設立しましたので、お知らせします。

1. 合併会社設立の背景および目的

近年、人工知能技術分野のアルゴリズムの進展やセンサーデバイスの普及に伴い、データを活用したサービスの高度化や新たなソリューション創出の重要性が一段と増しています。このような環境の中、東京海上HDは様々な事故や災害によって蓄積されるリスクデータを活用し、事業の高度化を進めてきました。またPKSHAは、自社開発した機械学習・深層学習領域のアルゴリズムを用い、多種多様な企業に対して、既存のソフトウェアや各種ハードウェア端末向けのソリューションを展開しています。

PKSHAと東京海上HDは、2020年4月6日に「資本業務提携に向けた基本合意書」を締結して以降、両社で東京海上グループが展開する事業領域におけるデータ活用の具体化に向けて検討を重ねてきました。今般、これまでの関係性をさらに強固なものとし両社の経営資源を最大限活かした事業創出を推進するため、共同出資により新会社を設立し事業を開始することといたしました。

新会社は、東京海上グループ各社が有する様々なリスクデータやリスク予防ノウハウと、PKSHAが有するアルゴリズム技術を活用することで、個々のお客様や企業を取り巻くリスクへの対応を進めてまいります。設立後は、東京海上グループが強みを有するモビリティ、防災・減災、ヘルスケア領域等におけるリスクの検知・軽減等に向け、アルゴリズムを活用したソリューション事業を企画・開発してまいります。

新会社名の「AlgoNaut（アルゴノート）」は、ギリシア神話に登場するアルゴ船に乗り込む英雄達を表すArgonautとAlgorithmを組み合わせた造語です。「アルゴリズムを活用することによって、これまでにない新たなビジネスを機動的に創出する企業」との想いを込めており、社会課題を解決する最先端のデジタルリスクソリューションの創出に挑戦してまいります。

2. 合併会社の概要

名称	株式会社AlgoNaut（アルゴノート）
所在地	東京都文京区本郷 2-35-10 本郷瀬川ビル4階
代表者の役職・氏名	代表取締役（共同代表） 上野山 勝也、佐野 長紀
資本金	300百万円（資本準備金含む）
出資比率	株式会社PKSHA Technology : 60% 東京海上ホールディングス株式会社 : 40%
事業内容	アルゴリズムライセンス事業
設立年月日	2020年11月9日

3. 東京海上ホールディングス株式会社の概要 (<https://www.tokiomarinehd.com/>)

名称	東京海上ホールディングス株式会社
所在地	東京都千代田区丸の内 1-2-1
代表者の役職・氏名	取締役社長 グループ CEO 小宮 暁
事業内容	損害保険会社、生命保険会社、その他保険業法の規定により子会社 とした会社の経営管理
設立年	2002年4月2日

4. 株式会社PKSHA Technologyの概要 (<https://pkshatech.com/ja/>)

名称	株式会社PKSHA Technology
所在地	東京都文京区本郷 2-35-10 本郷瀬川ビル
代表者の役職・氏名	代表取締役 上野山 勝也
事業内容	アルゴリズムライセンス事業
設立年	2012年10月16日

以 上

【本件に関する参考情報】

■参考1：保険業界における弊社の見立て

- 当社グループは、保険業界において様々な取り組みを実施してきましたが、今後も益々情報技術・アルゴリズムの活用が重要になってくると考えています。当社グループは、保険業界における情報技術進化の方向性について以下の通りと認識しています。
1. 技術が社会に実装されるにつれ、「技術にまつわる新たなリスク（サイバーセキュリティ、ファクトリーIoT、自動運転技術関連など）」が生じるため、情報技術の理解に基づいた保険商品の企画・設計・運用が重要となる
 2. 同時に、センサーデバイスが社会全体に張り巡らされるにつれ、観察対象への“見晴らし”が良くなるため、保険業界がこれまで扱ってきた「リスク(不確実性)」の見える化・定量化をより精緻に行うことが可能になると共に、これまで扱うことが困難であった新しい「リスク(不確実性)」における新たな市場機会が生まれる
 3. 一方で、シリアスな領域(自動車関連など)へのアルゴリズムソフトウェアが社会で実際に運用されるためには、有事のリスクに対処するための「保険商品」が不可欠な未来になるはずである

以上の認識に基づき、当社グループは保険領域における取り組みを積極的に進めていくことを目指しています。

■参考2：関連する過去開示情報

表題 (開示事項の経過) 東京海上ホールディングス株式会社との資本業務提携に関する進捗状況 — 保険リスクデータベースへのアルゴリズム導入の拡大とリスクテック事業での協業を推進中 —

開示日 2020年8月13日

資料URL <https://contents.xj-storage.jp/xcontents/AS81483/a1a0ea2a/9232/4308/a4e4/96259b5c80ae/140120200813481032.pdf>

表題 東京海上ホールディングス株式会社との資本業務提携にむけた基本合意書締結に関するお知らせ

開示日 2020年4月6日

資料URL <https://contents.xj-storage.jp/xcontents/AS81483/72296267/8e41/44b9/b648/095a481179f0/140120200406490175.pdf>

以 上